

【12-99】

迷路上の直線軸 一曲線と直線が織り成すかたち

A Straight Axis on the Maze

○正会員 櫻井 佑*1
SAKURAI Yuu,同 岩佐 明彦*2
IWASA Akihiko

曲線状の迷路のような街路で構成された集落に900mの直線型複合施設を挿入する。集落の曲線の複雑さと建物の直線の単純さを重ね合わせることで、集落と建物が一体となった施設を提案する。今までの施設は建物で完結してしまっている。地域を巻き込むような広い視点が必要である。そこで集落全体で一つの施設になるためのきっかけとなる建築をつくった。

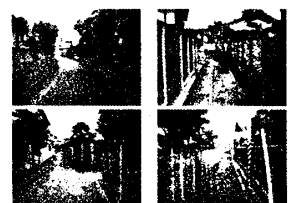
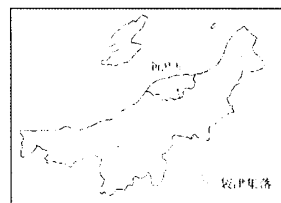
Keywords maze, axis, straight, curve
迷路、軸、直線、曲線

1. 敷地概要

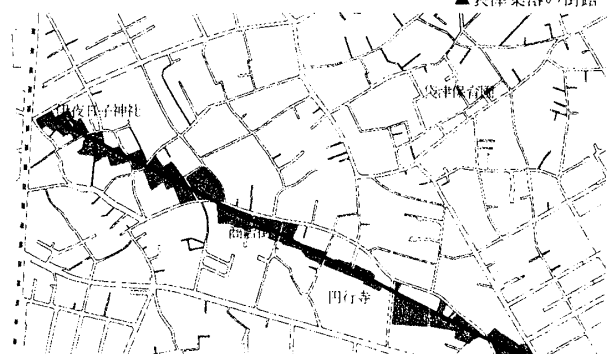
敷地は新潟県新潟市袋津集落。この集落の街路は砂丘を流れる川を埋め立ててつくられた。そのため曲線状の迷路のような街路構成になっている。加えて、道幅が狭く、自動車での行き来が困難なヒューマンスケールの道も多い。ヒューマンスケールの街路や道の両端の塀などが袋津集落独自の迷路性を生み出しており、これが袋津の土地の歴史や記憶を継承した町のアイデンティティとして居住者に認識され、愛着を持たれている。

2. 提案

袋津集落の持つ迷路性というアイデンティティを活かすことを基に、曲線とは逆の性質を持った直線軸を挿入する。直線軸上には、神社や商店などの集落の既存の機能と図書館や美術館などの新たな機能が配置されていく。シンプルな直線軸は曲線の街路が重なることで多様な性質を持つ直線に変化していく。これにより集落と建物が一体となった施設を提案する。



▲袋津集落の街路



◎ S=1:12000

新潟市袋津集落 site plan

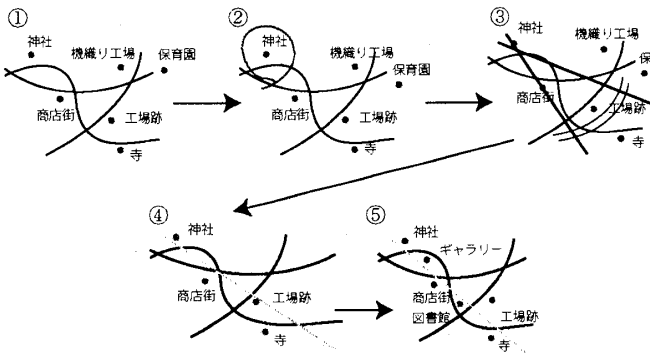


▲模型写真

*1 新潟大学大学院自然科学研究科 博士前期課程 Graduate Students, Graduate School of Science and Technology, Niigata Univ.

*2 新潟大学工学部建設学科 助教授・博士(工学) Assoc. prof., Dept. of Architecture, Faculty of Engineering, Niigata Univ.,

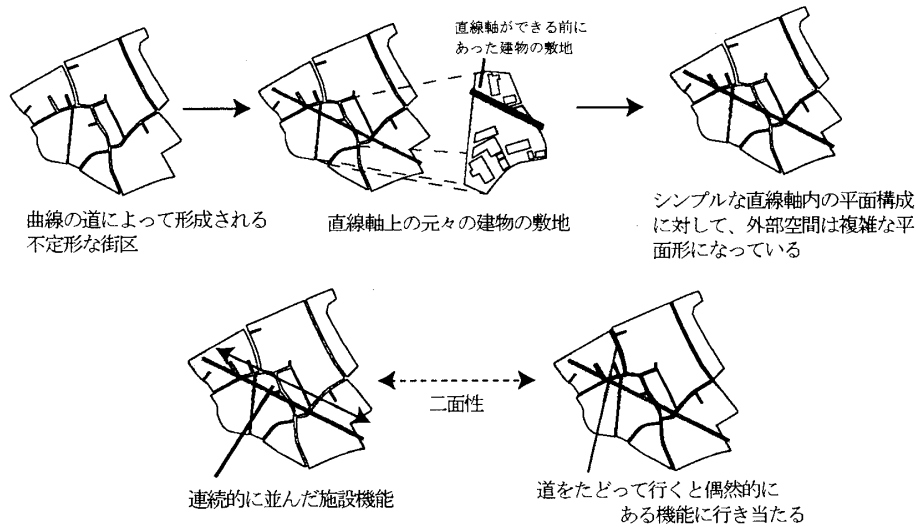
3. 直線軸の生成プロセス



- ①袋津の主要機能を挙げる。
- ②中心となる機能を決定。
- ③神社で固定し、直線軸の傾きを探す。
- ④直線の傾きを決定、機能を直線上に挿入していく。
- ⑤機能の切れ目に新しい機能を入れ、完成

決定要素
 ・直線軸に終んでくる機能
 ・直線軸が交わる道
 ・道と直線軸の接し方

4. 曲線と直線の組み合わせ



5. イメージパース

